

令和6年5月15日  
都市政策部環境課

## 質問に対する回答書

業務名称：泉大津市 CO<sub>2</sub> 排出量可視化システム導入業務

No.	質問項目	質問内容	回答
1	仕様書 (4業務内容)	温室効果ガス排出量「見える化」はクラウドシステムである必要はあるか	仕様書のとおりです。 市内公共施設等によるシステムの利用・CO <sub>2</sub> 排出量の確認を考えているため、排出量の可視化等についてもクラウド上で確認できるようにしてください。
2	仕様書 (4業務内容)	温室効果ガス排出量の SCOPE1,2 のみの算定を行い、SCOPE3 の算定は含まない認識であっているか	ご認識のとおりです。
3	仕様書 (4業務内容)	エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律に基づく定期報告書の作成補助機能を導入した際、どの時点での利用を想定しているかご教示いただきたい。	令和6年度の使用状況等の定期報告（令和7年報告分）からの利用を想定しています。
4	仕様書 (4業務内容)	市との打ち合わせのうち、最終報告についてはどのような内容を想定しているかご教示いただきたい。(成果物の有無、場面(市審議会等)、必須項目・内容など)	市及び事業者の年間を通してのCO <sub>2</sub> 排出量を取りまとめた資料等の提出、報告を想定していますが、事業開始後の協議により正式に決定します。
5	仕様書 (4業務内容)	事業者を提供する資料のうち、PR 資料の用途・目的についてご教示いただきたい。(対象は市内企業か市外への PR か、目的は脱炭素の啓発か本事業の周知か等)	市内企業への PR 資料としての利用を想定しており、脱炭素の啓発、本事業の周知及び事業活動に対して温室効果ガス排出量の把握と可視化がもたらすメリット等について、説明することを目的としています。

6	仕様書 (4業務内容)	市内中小企業の可視化のうち、約10社の募集・選定方法に関して市で想定していることがあればご教示いただきたい。(募集方法や希望業種・業態の有無など)	募集方法としては、広報紙、公式SNS及びHP等の媒体の使用を想定しています。 職種・業態については希望等はありません。
---	----------------	---	--